

[1] 次の文の [A] ~ [E] には適当な民族名を書き、文中の下線部については [設問] に答えなさい。

現在確認されている最古の人類はアウストラロピテクスなどの猿人で、約400万年前に出現したと考えられている。その後、原人、(a) 旧人を経て、数万年前に現生人類が地球上に登場した。約1万年前に西アジアで始まったと考えられる(b) 農耕・牧畜は人類史上革命的な出来事であり、これによって人類は文明をつくることが可能になった。

古代文明はまずオリエントに成立した。メソポタミアでは前3000年ごろには [A] 人の都市国家が多数形成された。その後、アッカド人の支配を経て、前1800年ごろにはバビロン第一王朝が(c) ハンムラビ王のときに最盛期を迎えた。エジプトでは前3000年ごろに統一国家がつくられ、以後、古王国・中王国・新王国の3時代に約30の王朝が交替した。周辺民族の侵入をまねいた一時期をのぞいて国内の統一が保たれ、(d) ピラミッドに象徴される強大な権力を持った王が支配した。

メソポタミアとエジプトにはさまれた小アジアから地中海東岸地域には多くの民族が興亡した。オリエントに初めて鉄器をもたらした [B] 人は前17世紀に小アジアに大帝国を建設してバビロン第一王朝を滅ぼした。[C] 人はダマスカスを中心に内陸の中継貿易に活躍し、フェニキア人は地中海貿易を独占した。パレスティナに定住した [D] 人は民族的苦難を経験する中で一神教を信仰した。

前7世紀前半にオリエントははじめて統一されたが、それは短期間に終わり、(e) 四カ国が分立した。その後、インド＝ヨーロッパ系の [E] 人のアケメネス朝が約200年にわたってオリエントを支配した。

[設問] 次の ・ の各文は、下線部(a)～(e)の事項についての説明したものである。それぞれの正誤を判断し、 ・ とも正しい場合は1を、 のみ正しい場合は2を、 のみ正しい場合は3を、 ・ とも誤っている場合は4を書きなさい。

(a) 旧人

脳容積は現代の人類とかわらず、死者の埋葬など宗教的行為をおこなった。ネアンデルタール人が代表的な人類である。骨角器をさかんに使用し、狩猟の成功をねがって、動物などの洞穴壁画をえがいた。

(b) 農耕・牧畜

初期の農法は雨水にたより、また肥料をほどこさなかったので、ひんぱんに耕地をかえなければならなかった。野生動物の中から最初に家畜として飼われたのは、山羊・羊・牛・豚などであった。

(c) ハンムラビ王

王は神の化身として専制的な政治を行い、全国土を所有し、全人民を支配した。王が発布した「ハンムラビ法典」の刑法は復讐法の原則にたち、身分によって刑罰が違っていた。

(d) ピラミッド

王の宮殿として造営されたもので、クフ王のピラミッドがその最大のものである。古王国・中王国・新王国の各時代につくられたが、巨大なものは新王国時代に多くつくられた。

(e) 四カ国分立

リディア・メディア・新バビロニア(カルデア)・ミタンニの四カ国が分立した。小アジア西南部のリディアでは前7世紀に世界最初の鑄造貨幣がつくられた。

[2] 古代ギリシア・古代ローマに関する以下の文章 ~ を読み、設問に答えなさい。なお解答は選択肢から1つ選択し、記号で答えなさい。

ギリシアでは、前9世紀から前8世紀ごろに、(a) ポリスが成立した。その後の商工業の発達によって、富裕な平民があらわれ、[A]としてポリス防衛の主体となっていく。彼らは、貴族の政権独占に対して強い不満をもち、政治参加を要求した。アテネでは、平民はその地位の向上を求めて争うようになり、それを背景に(b) さまざまな改革が実行された。前5世紀前半、アケメネス朝ペルシアがギリシア本土に遠征し、(c) ペルシア戦争が始まった。この戦争では、ギリシアのポリスは連合して、ペルシア軍を撃退した。古代ギリシア人は、神々への信仰とは別に、自然や人間を探究しようとした。イオニア地方で自然哲学としてはじまった哲学では、万物の根源を水と考えた [B]をはじめとして、多くの学者が輩出した。

問1 下線部(a)について述べた次の文のうち誤りを含まない文を選べ。

- ア．ポリスの構成員である市民は貴族・平民・奴隷の3つの身分に分かれた。
- イ．ポリスをつくったギリシア人はみずからをバルバロイ、他の人々をヘレネスとよんで区別した。
- ウ．多くのポリスでは、人口の増加にともない、地中海・紅海沿岸の諸地域に植民市を建設した。
- エ．スパルタでは、支配者のスパルタ人が隷農であるヘロットや劣格市民とされたペリオイコイを支配した。

問2 文中の[A]にあてはまる語句を次の中から選べ。

- ア．軽装歩兵
- イ．軽装騎兵
- ウ．重装歩兵
- エ．重装騎兵

問3 下線部(b)について述べた文のうち誤りを含む文を選べ。

- ア．ドラコンは、慣習法を成文化し、貴族による法の独占をやぶった。
- イ．ソロンは、市民が債務奴隷になることを禁止するとともに、市民の平等な政治参加を実現した。
- ウ．ペイシストラトスは、非合法的に独裁権力をにぎり僭主となった。彼は平民に土地を分配するなどの改革を実行した。
- エ．クレイステネスは、僭主の出現をふせぐために陶片追放の制度などをつくり、民主政の基礎を確立した。

問4 下線部(c)について述べた次の文のうち誤りを含む文を選べ。

- ア．この戦争のきっかけとなったのは、イオニア植民市のペルシアに対する反乱である。
- イ．サラミスの海戦では、ペリクレスの指導によって海軍を増強したアテネがペルシア海軍をやぶった。
- ウ．アテネは、ペルシアの脅威に対抗するためデロス同盟を結成し、加盟ポリスへの支配を強めた。
- エ．ペルシア戦争後、この戦争で活躍した無産市民の発言力が強まり、前5世紀なかばには徹底した民主政が実現した。

問5 文中の[B]にあてはまる語句を次の中から選べ。

- ア．タレース
- イ．ヘロドトス
- ウ．アリストテレス
- エ．ヘシオドス

．イタリア半島を南下したイタリア人の一派であるラテン人は、前7世紀までに都市国家を形成した。その都市国家の一つであるローマでは、前6世紀に[C]人の王が追放され、貴族中心の共和政が始まった。一方、周辺の諸都市との抗争でローマの発展に貢献していた平民は、貴族と対立して身分闘争をおこし、(d)法的地位を徐々に向上させていった。その間、ローマの対外発展もすすみ、前3世紀前半にローマはイタリア半島を統一した。さらに(e)西地中海に勢力をもっていたカルタゴとポエニ戦争をたたかってこれを滅ぼし、またマケドニア・ギリシア・小アジアにも進出した。

問6 文中の[C]にあてはまる語句を次の中から選べ。

- ア．フェニキア
- イ．ギリシア
- ウ．エトルリア
- エ．ケルト

問7 下線部(d)について述べた次の文のうち誤りを含む文を選べ。

- ア．平民の利益を保護する目的で護民官が設置された。
- イ．最初の成文法である十二表法が制定され、貴族による法の独占がやぶられた。
- ウ．リキニウス・セクスティウス法により執政官(統領)の一人が平民から選出されるようになった。
- エ．ホルテンシウス法によって元老院の決議が国法と認められるようになった。

問8 下線部(e)の時期(前2世紀～前1世紀)について述べた次の文のうち誤りを含む文を選べ。

- ア．中小土地所有農民の多くは、長い従軍生活によって疲弊して、土地を手ばなし無産市民となった。
- イ．属州で富をたくわえた有力者は、無産市民を労働者として使役するラティフンディアを発展させた。
- ウ．護民官となったグラックス兄弟は、大土地所有を制限し、土地を失った農民に土地を再配分しようとした。
- エ．同盟市戦争によってイタリア半島の自由民にローマ市民権が与えられるようになった。

．2世紀なかばにローマ帝国の繁栄にはかげりがみえ、3世紀には、各地の軍団が皇帝を廃立する軍人皇帝時代となった。多数の軍隊や役人を維持するために都市は重税を課されて衰え、内乱と疫病で人口も減少した。また、ゲルマン人やパルティア王国を滅ぼした[D]などの侵入や圧迫があいついだ。このような帝国の危機にさいして、(f)皇帝によりローマ帝国の再建が図られた。

問9 文中の[D]にあてはまる語句を次の中から選べ。

ア．ササン朝ペルシア　イ．エフタル　ウ．バクトリア　エ．セレウコス朝シリア

問10 下線部(f)について述べた次の文のうち誤りを含む文を選べ。

- ア．ディオクレティアヌス帝は、二人の正帝と二人の副帝による四分統治をおこなった。
- イ．ディオクレティアヌス帝は、ローマの神々や皇帝への礼拝をこぼんでいたキリスト教徒を迫害した。
- ウ．コンスタンティヌス帝は、東方のビザンティウムに遷都し、コンスタンティノープルと改称した。
- エ．コンスタンティヌス帝は、キリスト教を国教に定め、他の宗教を禁じた。

[3] 次のA～Eの文章を読み、下線部に関する設問に答えなさい。なお解答は選択肢から1つ選択し、記号で答えなさい。

- A．フランク王国は、(a)カール大帝の時代に全盛期をむかえたが、(b)870年の条約によって3つの地域に分裂した。これがのちのフランス・ドイツ・イタリアの中核地域となっていく。
- B．ノルマン人の移動の影響をうけて、9世紀後半に(c)ロシアの起源となる国がドニエプル河中流につくられた。またノルマン人の一部は、イスラム勢力と対決しつつ12世紀はじめに(d)地中海に進出して国をつくった。
- C．11世紀末に始まった(e)十字軍の遠征は、最終的には失敗に終わり、ローマ教皇の権威を低下させることとなった。だが一方で、イスラム文化のヨーロッパへの流入や、(f)ヨーロッパ内での遠隔地商業の活性化をもたらした。
- D．14世紀から15世紀にかけて、イギリスとフランスの間で百年戦争が戦われた。(g)イギリスは優勢に戦いをすすめていたが、(h)ジャンヌ＝ダルクの活躍などによって最終的にはフランスが勝利をおさめた。
- E．ドイツでは962年に、いわゆる「神聖ローマ帝国」が成立したが、(i)歴代の皇帝の権力はさほど強大なものではなかった。そして13世紀後半の(j)大空位時代以降は、諸侯の分立は決定的なものとなった。

問1 下線部(a)に関する説明として、次の中から正しいものを選べ。

- ア．彼の祖父カール＝マルテルは、アッパース朝の軍勢をフランス中部で破った。
- イ．彼の父ピピン3世は、フランク王国の宮宰であったが、メロヴィング朝を廃して、新たにカペー朝をひらいた。
- ウ．彼は、教皇と対立していたロンバルド王国を倒し、東方ではアジア系のアヴァール人を撃退した。
- エ．800年、教皇レオ3世は聖職叙任権闘争への援助を期待して彼にローマ皇帝の冠を与えた。

問2 下線部(b)について この条約が結ばれた都市はどこか。次の中から選べ。

- ア．メルセン　イ．ヴェルダン　ウ．アーヘン　エ．パリ

問3 下線部(c)について 具体的な国名はどれか。次の中から選べ。

- ア．ザクセン公国　イ．ノルマンディ公国　ウ．モスクワ公国　エ．キエフ公国

問4 下線部(d)について 具体的にはイタリア半島南部と、ある島がその領土となった。島の名前を次の中から選べ。

- ア．サルデーニャ島　イ．コルシカ島　ウ．キプロス島　エ．シチリア島

問5 下線部(e)に関する説明として、次の中から正しいものを選べ。

- ア．オスマン朝と対立していたビザンツ帝国が西ヨーロッパに援軍を求めてきた。教皇ウルバヌス2世は、これを教皇権拡大の好機と考え、1095年のクレルモンの公会議で、聖地エルサレムの奪回を呼びかけた。
- イ．1096年、多数の諸侯・騎士からなる第1回十字軍はエルサレムをめざして出発した。そして1099年に建国されたラテン王国は、紆余曲折をへながらも約200年間つづいた。
- ウ．十字軍の遠征も、回数を重ねるうちに初期の宗教的情熱は失われていった。なかでも第4回十字軍は、ビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルを占領し略奪を重ねた。
- エ．十字軍の遠征には、西欧の外部への拡大運動という性格がある。その意味では、イベリア半島でのレコンキスタやドイツ人のシベリア進出も同じ性格をもっているいえよう。

問6 下線部(f)について 12世紀から13世紀にかけてヨーロッパの南北をむすぶ大市がひらかれた地名を次の中から選べ。

- ア．ノヴゴロド　イ．シャンパーニュ　ウ．ロンドン　エ．コルドバ

問7 下線部(g)について 次のなかで、百年戦争の時代のイギリスの説明として不適切なものはどれか、次の中から選べ。

- ア．ウィクリフは、ローマ教皇権からのイギリスの政治的・宗教的独立をとき、英訳聖書を作成した。
- イ．農民反乱の指導者ワット＝タイラーは国王に、農奴制廃止を承認させたが、その直後に殺害された。
- ウ．エドワード1世によって召集された身分制議会には州と都市の代表も参加し、模範議会と呼ばれた。

エ．プランタジネット朝が断絶し、のちのバラ戦争の遠因となった。

問8 下線部(h)の援助を受けて百年戦争で勝利をおさめ、フランス王権の拡大に努めた国王は誰か。次の中から選べ。

ア．フィリップ2世　イ．リチャード1世　ウ．ジョン　エ．シャルル7世

問9 下線部(i)の一例として1077年のカノッサ事件があげられよう。この事件に関係する「皇帝とローマ教皇」の正しい組み合わせを次の中から選べ。

ア．オットー1世とヨハネス12世　イ．ハインリヒ4世とグレゴリウス7世

ウ．フリードリヒ2世とインノケンティウス3世　エ．フィリップ4世とボニファティウス8世

問10 下線部(j)の後に、国王選定の手続きとして発布された文書は何か。次の中から選べ。

ア．金印勅書　イ．大憲章　ウ．ヴォルムス協約　エ．ローマ法大全

[4]次のルネサンス・宗教改革・大航海時代の年表を見て設問に答えなさい。

1394 ポルトガルの [A] 航海王子が生まれる

1453 ビザンツ帝国が滅亡する

このころ(a) イタリア・ルネサンス が本格化

1492 (b) コロンブス がアメリカに到達する

これ以降(c) 大航海時代 が本格化する

1509 エラスムスが「 [あ] 」を著す

1513 マキアヴェリが「 [い] 」を著す

1516 [B] が「ユートピア」を著す

1517 ルターが宗教改革を始める

1521 [う] がアステカ王国を滅ぼす

1524 ドイツ農民戦争が始まる(～ 1525)

1533 [え] がインカ帝国を滅ぼす

1534 ヘンリー8世が [C] を発布する

(d) イエズス会 が創設される

1536 (e) カルヴァン が「キリスト教綱要」を著す

1555 [D] の宗教和議

1559 (f) 統一法 発布

1564 (g) ミケランジェロ が死去する

1615 [E] が「ドン＝キホーテ」を著す

問1 [A] [B] [C] [D] [E] に適する人名・語句を答えなさい。

問2 下線部(a)に関する次の文の中で正しいものを1つ選べ。

ア．フィレンツェのフッガ - 家は学芸の保護者として名高い。

イ．ペトラルカは「デカメロン」の作者である。

ウ．ボッティチェリは「農民の踊り」を描いた。

エ．ラファエロは多くの「聖母子像」で知られる。

問3 下線部(b)の人物を支援した国の名を記せ。

問4 下線部(c)に関する次の文の中で正しいものを1つ選べ。

ア．カブラルはブラジルに漂着した。

イ．バルボアはゴアやマラッカの攻略に活躍した。

ウ．マゼラン(マガリヤエンス)は世界周航の途中モルッカ諸島に到達した。

エ．バルトロメウ＝ディアスはインドに到達した。

問5 文中の空欄 [あ] - [い] に入る語句の組み合わせとして正しいものを選べ。

ア．愚神礼讃 - カンタベリ物語　イ．愚神礼讃 - 君主論

ウ．随想録 - カンタベリ物語　エ．随想録 - 君主論

問6 文中の空欄 [う] - [え] に入る語句の組み合わせとして正しいものを選べ。

ア．コルテス - トスカネリ　イ．カボット - トスカネリ　ウ．コルテス - ピサロ　エ．カボット - ピサロ

問7 フランシスコ＝ザビエルとともに下線部(d)の会を結成した中心人物の名を記せ。

問8 下線部(e)の人物が後に神権政治を推進したのは、スイスの何という都市においてであったか、都市名を記せ。

問9 下線部(f)を発布したイギリス国王の名を記せ。

問10 次の作品のうちで、下線部(g)の人物のものでないのを1つ選べ。

ア．「ダヴィデ像」　イ．「ヴィーナスの誕生」　ウ．「夜警」　エ．「最後の晚餐」

[5]次の(1)～(5)の文は、ヨーロッパの絶対主義の時代に起こった戦争についての説明文である。これを読んで設問に答えなさい。

(1)1740年にオーストリアの [A] がハプスブルク家の全領土を継承すると、バイエルン、フランス、プロイセンなどが異議をとなえてオーストリアと戦った。同じ年に即位したプロイセンのフリードリヒ2世は、資源の豊富な(a) オーストリア領(現ポーランド領) を占領し、この地域をプロイセンに併合した。

(2)フランスでは16世紀半ばからカルヴァンの教えを信じる新教徒が増加し、カトリック教徒との間で1562年から宗教戦争

が発生した。新旧両派の戦いは30年以上にもわたったが、ブルボン家から即位した新国王の [B] は、カトリックに改宗したのち (b) 新教徒の信仰を認める勅令 を出し、この戦争を収拾した。

(3) 神聖ローマ帝国では、ボヘミア(ベーメン)での新教徒の反乱を契機とする宗教的内乱に、新旧両派を援助する諸国が介入し国際戦争に発展した。特にフランスの宰相 [C] はハプスブルク家の勢力を弱めるために直接介入を始め新教徒を援助した。(c) 戦争が終結した1648年の条約 では神聖ローマ帝国の政治的分裂は決定的となった。

(4) 西方への進出を目指すロシアの [D] は、デンマークやポーランドと手を結んで、バルト海に勢力を持っていた北欧の強国スウェーデンと戦った。20年以上にわたる戦いの中で、ロシアはエストニアなどのバルト海沿岸地域に進出し、(d) バルト海を臨む新しい都市の建設を行い、のちに首都をここに移した。

(5) 1700年にスペインのハプスブルク家が断絶すると、血縁関係にあったフランスとオーストリアが、相続権をめぐって対立し争った。フランスの勢力拡大を恐れるイギリスやオランダも加わり、(e) 戦争を終結させた1713年の条約 では、フランス王 [E] の孫の即位が認められたが、フランス・スペイン両国は領土の削減を余儀なくされた。

問1 (1)~(5)の説明文に相当する戦争名を答えなさい。

問2 (1)~(5)の文中の空欄 [A] ~ [E] に適する人名を答えなさい。

問3 文中の下線部(a)~(e)についてそれぞれ答えなさい。

(a)この地域の名称を答えなさい。

(b)この勅令の名称を答えなさい。

(c)この条約の翌年にイギリスで処刑された国王の名前を答えなさい。

(d)この都市の名称を答えなさい。

(e)この条約の名称を答えなさい。

[6] 次の(1)~(5)の各文の文中の [A] ~ [E] に適する語句を答えなさい。また、各文の下線部(a)~(d)にはどれか1つ誤りがある。解答欄の左側にその記号を、右側に正しい語句を書きなさい。

(1) 北アメリカに建設されたイギリスの植民地では自治がおこなわれていたが、本国イギリスは(a) 重商主義政策 によって植民地の経済活動を制限していた。しかも、(b) イギリス=オランダ戦争 以後は、植民地に重税を課したので、植民地の人々は強い不満をいだいた。とくに1765年の印紙法は強い反対をひきおこし、植民地の人々は「 [A] なくして課税なし」という原理をかかげて本国に抗議した。1773年の(c) ボストン茶会事件 をきっかけに、本国は弾圧を強めたので、植民地代表は(d) 大陸会議 をひらいて抗議をおこなった。しかし、本国は武力弾圧の姿勢をくずさず、その結果独立戦争が開始された。

(2) 1789年、ヴェルサイユ宮殿において(a) 三部会 が開会された。しかし、採決方法をめぐる対立がおこり、第三身分の代表は一部の貴族・聖職者とともに国民議会を結成し、 [B] の制定まで解散しないことを誓った。これに対して国王派が武力で議会の弾圧しようとしたため、パリの民衆はバスティーユ牢獄を占領し、各地の農民も蜂起して革命は本格化していった。こうしたなかで国民議会は、封建的特権の廃止を決議するとともに、(b) 人権宣言 を発表した。1791年にフランスは立憲王政となり、(c) 普通選挙 による立法議会が成立し、やがて穏健共和派の(d) ジロンド派 が革命の主導権を握った。

(3) フランス革命の進行に対して、ヨーロッパ各国は、(a) オーストリア を中心にフランスに干渉しようとした。フランスはこれに武力で対抗したが、フランス軍は敗北を重ねた。この危機に義勇軍が組織され、民衆の支持を背景に、議会は王権を停止した。さらに(b) 国民公会 が召集され、共和政が宣言された。この議会では、ロベスピエールらの [C] 派がしだいに優位にたち、国王を処刑して革命をさらにすすめようとし、議会から反対派を追放して、(c) 公安委員会 を中心に強力な独裁体制をしいた。しかし、この独裁体制は有産市民の不満を招き、クーデタによってロベスピエールらは逮捕・処刑され、その翌年(d) 統領政府 が成立した。

(4) クーデタによって権力を掌握したナポレオンは、(a) イギリス とアミアンの和約をむすぶなど、フランスをめぐる国際情勢を安定させるとともに、革命の成果を定着させるために(b) 民法典 を制定した。しかし、フランスの強大化を恐れたイギリスは、他の諸国とともに第3回対仏大同盟を結成した。これに対してナポレオンは、三帝会戦でロシア・オーストリア連合軍をやぶり、さらにプロイセン・ロシアにも勝利して(c) ティルジット条約 をむすんだ。この間、彼はベルリンで [D] を発し、イギリスに経済的圧力を加えようとしたが、かえって諸国の反発をまねいた。ナポレオンの兄が国王につい

た(d) イタリアでは、ナポレオンの支配に抵抗する民衆のゲリラ戦がつづけられ、ナポレオン没落の一因となった。

(5)イギリスで世界最初の産業革命がおこった原因として次のようなことが考えられる。第一に、16世紀以来発達した(a) 木綿工業は資本主義的な工業生産組織を発展させ、産業資本家の手に資本が蓄積された。第二に、(b) 17世紀の市民革命によって経済の発展を妨げていた独占や特権が廃止され、自由な経済活動が促進された。第三に、17・18世紀にオランダや(c) フランスをやぶって、広大な海外市場を獲得し、植民地貿易による資本の蓄積もすすんだ。第四に、穀物生産のための第2次 [E] がおこり、多くの農民が土地を失って都市に流入し、工業のための労働力を提供した。19世紀以降、産業革命は各国に波及した。まず(d) ベルギー・フランス、つづいてドイツやアメリカで産業革命が進行した。

[7] 次の(1)から(4)の文章を読み [A] ~ [D] に適語を入れ、また下線部についての設問にも答えなさい。

(1)1814年にフランス革命の以来の混乱をおさめるためヨーロッパ諸国の代表が集まりウィーン会議が開かれた。この会議ではフランス革命以前の秩序に回復させようとする [A] が原則とされ、大国の勢力均衡による国際秩序維持がはかられた。この会議ははじめ各国の利害対立のため前進しなかったが、ナポレオンの再挙兵をきっかけに(a) ウィーン議定書の調印が実現した。この議定書によって決められた大国による国際秩序(ウィーン体制)を維持するため、1815年には(b) ロシア皇帝アレクサンドル1世のよびかけで神聖同盟が結成された。また四国同盟(のち五国同盟)も結ばれた。

(2)(c) ウィーン体制への反抗運動ははやくからおこっていたが、1830年にフランスでおこった七月革命でブルボン家シャルル10世が退位し、オルレアン公 [B] が王位についた。七月革命の影響はただちに(d) ヨーロッパ各地に波及したが、ウィーン体制の完全崩壊にはいたらなかった。

(3)1848年にフランスでおこった(e) 二月革命の結果、王は亡命し共和派による臨時政府が成立した。この臨時政府には社会主義者の [C] も参加し、失業者救済のために国立作業場をつくるなど改革に力をいれた。同年4月の国民議会の選挙では共和派が大勝し、保守化した政府に抗議した6月の蜂起は鎮圧された。そして12月の大統領選挙ではルイ＝ナポレオンが当選した。彼は1852年の国民投票の結果皇帝となりナポレオン3世と称し帝政を始めた。

(4)ドイツでは1848年5月、 [D] で国民議会が開かれてドイツの統一と憲法制定が討議された。翌年にはプロイセン王を皇帝とする憲法が定められたが、王に拒絶された。その後ドイツの統一はプロイセン首相ビスマルクがおこなった「鉄血政策」による(f) 一連の戦争での勝利により1871年に実現された。

問1 下線部(a)について ウィーン議定書の内容として誤っているものを1つ選び記号で答えなさい。

- ア．ロシアはワルシャワ大公国の大部分を併合してポーランド王国をつくりロシア皇帝がその王位をかねた。
- イ．イギリスは戦争中に占領したケープ植民地、セイロン島を得た。
- ウ．オーストリアはハンガリーを放棄し、サボイとニースを得た。
- エ．神聖ローマ帝国は復活せず、ドイツではオーストリア、プロイセンを含むドイツ連邦ができた。

問2 下線部(b)について この皇帝の死を機におこった自由主義的な貴族や仕官の反乱は何か、次の中から選び記号で答えなさい。

- ア．カルボナリの乱
- イ．デカブリストの乱
- ウ．ナロードニキ運動
- エ．ブルシェンシャフト運動

問3 下線部(c)について 1810年代から20年代にかけてのラテンアメリカでの独立運動はウィーン体制を動揺させたが、ラテンアメリカの独立運動の指導者として正しい人物を一人選び記号で答えなさい。

- ア．バイロン
- イ．シモン＝ボリバル
- ウ．ドラクロワ
- エ．モンロー

問4 下線部(d)について 七月革命の影響で独立し、立憲君主国となった国はどこか答えなさい。

問5 下線部(e)について フランスの二月革命の報が伝わるとウィーンでも三月革命がおこった。この革命により失脚し国外に亡命したオーストリアの宰相は誰か答えなさい。

問6 下線部(f)について ドイツ統一にいたる出来事を年代順に正しく並べたものはどれか記号で答えなさい。

(普 = プロイセン、 奥 = オーストリア、 仏 = フランス)

- ア．普奥戦争 - ドイツ関税同盟成立 - 北ドイツ連邦成立 - 普仏戦争 - ドイツ帝国成立
- イ．ドイツ関税同盟成立 - 普仏戦争 - 北ドイツ連邦成立 - 普奥戦争 - ドイツ帝国成立
- ウ．北ドイツ連邦成立 - 普奥戦争 - ドイツ関税同盟成立 - 普仏戦争 - ドイツ帝国成立
- エ．ドイツ関税同盟成立 - 普奥戦争 - 北ドイツ連邦成立 - 普仏戦争 - ドイツ帝国成立

[8] 次の (1) ~ (5) の文中の [A] ~ [E] に適する語句を答えなさい。また、各文の下線部 (a) ~ (c) にはどれか 1 つ誤りがあるので、解答欄の左側にその記号を、右側に正しい語句を書きなさい。

(1) エジプト太守 [A] は 19 世紀初めにオスマン帝国から自立し、軍隊の改革・商工業の保護などを行い、近代化を進めた。1840 年代以降、エジプトはイギリス・フランスの干渉を強く受けるようになった。1869 年、フランス人 (a) レセップス の努力でスエズ運河が開通したが、イギリスは (b) ディズレーリ 内閣の時、エジプトの財政難に乗じてエジプト太守から運河会社株の約半数を買収した。イギリス・フランスに国家財政を管理され、内政面でも支配を受けると、民族主義者の抵抗運動が始まった。1881 年には (c) ケマル＝パシャ を中心とする反乱が起きたが、イギリスはこれを武力鎮圧し、エジプトを占領して事実上の保護国とした。

(2) 1857 年の大反乱 (セポイの反乱) を契機に、イギリスは (a) 東インド会社 を解散してインドを直轄下に置き、その後ヴィクトリア女王を皇帝とする [B] を成立させた。さらに、イギリスは 3 度にわたる (b) アフガン戦争 を経てアラウンパヤー朝 (コンバウン朝) を滅ぼし、1886 年にはこの地を [B] に併合した。インド民衆の不满への安全弁として、1885 年イギリスはボンベイで (c) インド国民会議 を開催したが、これは 20 世紀初頭になると急速に反英的となり、独立運動の中心になっていった。

(3) ヴェトナムでは 19 世紀の初めに (a) 阮福映 が阮朝越南国を建国した。19 世紀の半ば、フランスはサイゴンを占領してコーチシナ東部を獲得し、また、(b) カンボジア を保護国化した。その後、フランスはトンキン地方を占領し、1883 年のユエ条約でヴェトナムを保護国としたので、宗主権を主張する [C] との間で戦争が起きた。これに勝利したフランスは、フランス領インドシナ連邦を形成し、後にラオスをこれに編入した。20 世紀に入ると、ファン＝ボイ＝チャウら知識人によるフランスからの独立をめざす活動が盛んになった。彼らは、日露戦争に刺激されて、青年を日本へ留学させる (c) タンジマート を推進した。

(4) イギリス東インド会社は、大量の茶の輸入と銀の流出という事態を打開するために、インド産のアヘンを中国に密輸していた。アヘン貿易の拡大に伴い、その害毒が広がり、大量の銀が中国から流出し始めた。清朝政府は [D] を広州に派遣して、アヘンの厳重取締を行った。イギリスはこれを機にアヘン戦争を起こした。敗れた清は、(a) 天津条約 によって、香港の割譲・広州など 5 港の開港・(b) 公行 の廃止・賠償金の支払を承認させられた。アヘン戦争後も、ヨーロッパ諸国が期待したほど対中国貿易が拡大しなかったため、1856 年イギリスはフランスをさそって (c) アロー戦争 を起こし 1860 年には北京を占領して、天津など 11 港の開港・外国公使の北京駐在・キリスト教布教の自由などを盛りこんだ北京条約を結んだ。

(5) アヘン戦争に伴う重税は民衆を苦しめ、社会不安が増大した。上帝会の指導者 (a) 洪秀全 は広西省で挙兵し、1851 年に [E] の樹立を宣言した。[E] は中国の南部を勢力下に置き、(b) 天朝田畝制度 とよばれる土地均分策を發布し、租税軽減・男女平等・悪習の撤廃など各方面の改革を掲げて、民衆の支持を集めた。清朝政府はこれに対処できず各地の漢人地主が義勇軍を率いてこれを鎮圧した。これを機に漢人官僚が進出して政治の要職を占め、曾国藩・李鴻章らが富国強兵のために西洋の科学技術を導入する (c) 変法自強運動 を展開した。

[9] 次の文章を読み、設問に答えなさい。なお解答は選択肢から 1 つ選択し、記号で答えなさい。

1914 年に始まった (a) 第一次世界大戦 はヨーロッパのほとんどの国をまきこむ総力戦となり、連合国の勝利で終結した。大戦中におきた (b) ロシア革命の結果、社会主義国家ソ連が誕生した。(c) パリ講和会議 の結果結ばれたヴェルサイユ条約にちなんで、戦後の国際秩序を (d) ヴェルサイユ体制 という。しかし、この体制は [A] 年にアメリカで始まった世界恐慌によって崩壊に向かった。イギリスはブロック経済で局面の打開を図り、アメリカは (e) ニュー・ディール政策 を推進した。一方ドイツ・イタリア・日本はファシズム体制をとり再び大戦をひきおこすことになった。

ドイツで政権を握ったヒトラーは再軍備を断行し、1936 年には [B] 条約を破棄して [C] 進駐を強行した。同年に勃発した (f) スペイン内戦 は第 2 次世界大戦の前ぶれでもあった。ナチス - ドイツの侵略は 1938 年のオーストリア併合、同年 9 月の [D] 会談をへて、1939 年にはポーランドに向かった。1939 年 9 月に始まった (g) 第 2 次世界大戦は 5 千万人以上の死者を出す戦禍を残して 1945 年ようやく終結した。

問 1 下線部 (a) に関する次の文の中で正しいものを選べ。

- ア．セルビア国王が暗殺されたサライエヴォ事件をきっかけに始まった。
- イ．イタリアはドイツ側にたって参戦した。
- ウ．ドイツ軍のヴェルダン要塞総攻撃は、フランスの堅い守りにあい成功しなかった。
- エ．イギリスはバルフォア宣言によって、アラブ人の支持を得ようとした。

問2 下線部(b)に関する次の文の中で誤りを含むものを選べ。

- ア．三月革命(ロシア暦二月革命)により、ロマノフ朝のニコライ2世は退位した。
- イ．レーニンは四月テーゼを発表し、臨時政府打倒を訴えた。
- ウ．ソヴィエト政権はブレスト＝リトフスク条約で、ドイツと単独講和した。
- エ．新経済政策の矛盾が激化したため、戦時共産主義が断行された。

問3 下線部(c)の会議に参加しなかった人物を次の中から選べ。

- ア．ロイド＝ジョージ　イ．トロツキー　ウ．ウィルソン　エ．クレマンソー

問4 下線部(d)の体制のもとで国際協調をすすめた政治家を次の中から選べ。

- ア．シュトレゼマン　イ．ヒンデンブルク　ウ．ブリアン　エ．ケロッグ

問5 文中の空欄[A]に入る年代を次の中から選べ。

- ア．1925　イ．1927　ウ．1929　エ．1931

問6 下線部(e)に関する次の文の中で、誤りを含むものを選べ。

- ア．フーバー大統領が中心におこなわれた。
- イ．全国産業復興法(NIRA)や農業調整法(AAA)が制定された。
- ウ．テネシー川流域開発公社が設立され、失業者の救済がはかられた。
- エ．ワグナー法は労働者の立場に立った法律であった。

問7 文中の空欄[B] - [C]に入る語句の組み合わせとして正しいものを次の中から選べ。

- ア．不戦 - ラインラント　イ．不戦 - ズデーテン　ウ．ロカルノ - ズデーテン　エ．ロカルノ - ラインラント

問8 次の語句のうちで、下線部(f)と関係ないものを次の中から選べ。

- ア．ピカソの「ゲルニカ」　イ．リットン調査団　ウ．フランコ将軍　エ．人民戦線内閣

問9 文中の空欄[D]に適する語句を次の中から選べ。

- ア．カイロ　イ．テヘラン　ウ．ミュンヘン　エ．ポツダム

問10 下線部(g)に関する次の文の中で正しいものを次の中から選べ。

- ア．ドイツと不可侵条約を結んでいたソ連は、ポーランドを分割しフランスに攻めこんだ。
- イ．ドイツはスターリングラードの戦いでソ連を破り、ヤルタ協定を結んだ。
- ウ．反ファシズム抵抗運動の指導者としては、ティトーやベタンが名高い。
- エ．ノルマンディー上陸作戦に成功した連合軍側はやがてパリを解放した。

[10]次の(1)～(3)の文章を読んで、下の設問に答えなさい。

(1)イランのササン朝では建国当初より(a)ゾロアスター教が国教とされ、その教典の[A]も編纂された。また仏教やキリスト教も信仰され、この三宗教の融合した[B]が成立した。

(2)インドのグプタ朝では、5世紀に[C]が創建されて仏教の教義研究が盛んに行われたが、民間信仰としての仏教は衰えを見せ、これにかわってヒンドゥー教が民衆に定着していった。一方、この時期はインド古典文化の黄金期でもあり、(b)文学では[D]が『シャクンタラー』を著し、『マハーバーラタ』、『[E]』の二大叙事詩はこのころ現在のような形にまとめられたとされている。

(3)秦の始皇帝は戦国の世を統一すると、(c)法家思想に基づいて徹底した中央集権政策をとった。秦が滅んだのち、(d)の建国当初も法家思想が支配的であったが、(e)中央集権体制が確立した武帝の時に、儒学者の[F]の献言により儒学が官学化され、その後、後漢の時代には経書の解釈を研究する(f)訓詁学が盛んになった。

問1 文中の[A]～[F]に適する語句を答えなさい。

問2 下線部(a)のゾロアスター教の特色として正しいものを次の中から1つ選べ。

- ア．人間は苦行によってのみ救済されると説き、厳しい修行と不殺生主義を唱える。
- イ．身分や貧富の差をこえた神の絶対的愛を信じ、隣人愛を説く。
- ウ．世界を善神と悪神の対立ととらえ、最後の審判によって人間の靈魂は天国に導かれると説く。
- エ．自民族だけが救われるという選民思想を持ち、救世主の出現を待望する。

問3 下線部(b)について、この当時の文学は主に何語で書かれていたか。次の中から選べ。

- ア．ヒンディー語 イ．サンスクリット語 ウ．ドラヴィダ語 エ．ウルドゥー語

問4 下線部(c)について、始皇帝の政策を説明した次の文のうち、誤りを含むものを1つ選べ。

- ア．商鞅の建議に基づいて、焚書坑儒と呼ばれる言論・思想の弾圧を行った。
- イ．全国の文字、車軌、度量衡などを統一し、半兩錢という貨幣を鑄造した。
- ウ．全国に郡県制を施行し、地方官を中央から派遣して中央集権体制を固めた。
- エ．戦国時代に諸国が築いていた長城を修築し、北方の匈奴にそなえた。

問5 下線部(d)のころ中国北方の匈奴の君主となり、強力な国家を作り上げてさかんに中国を侵略したのは誰か。

問6 下線部(e)について、漢の中央集権が確立される大きなきっかけとなった、前154年に起こった反乱は何か。

問7 後漢時代に活躍した、下線部(f)の学問の代表的学者を次の中から1人選べ。

- ア．孔穎達 イ．蔡倫 ウ．班固 エ．鄭玄

[11] 3世紀から14世紀にかけての東アジアについて、 ・ の各文章を読んで文中の下線部についての設問に答えなさい。

中国史では、南の農耕民と北方の遊牧・狩猟民との戦いが続いたが、時代によって北方民族の中国への姿勢も変化した。
魏晋南北朝時代は(a) 魏・蜀・呉の三国鼎立にはじまり、4世紀以降は華北に異民族の諸王朝が興亡した。従って、江南を中心とした南朝が(b) 繊細で優雅な貴族文化を開花させたのに対して、華北諸王朝は北方民族の質実剛健さを保った。しかし北魏の(c) 孝文帝の漢化政策にみられるように、華北を支配した異民族はしだいに中国文化に同化していった。

これに対して、五代十国時代に現れた遼や、12世紀前半にこれを倒してさらに華北を奪った金は、(d) 北方の部族としての独自性を維持しつつ中国の漢民族を支配した。このことから、遼・金は、後の元・清と共に「征服王朝」と呼ばれた。特に元は(e) 圧倒的多数の漢民族に対し、少数者としてのモンゴル人の支配を維持しようとした。

(a) 三国のうち、蜀のことを述べたものとして、正しいものを一つ選んで記号で答えなさい。

- ア．曹丕が建国し、九品中正を創始した。 イ．孫権が建国し、江南を支配した。
- ウ．劉備が建国し、都を成都に定めた。 エ．司馬炎が建国し、都を洛陽に定めた。

(b) 南朝の繊細・優雅な貴族文化の説明として、正しいものを一つ選んで記号で答えなさい。

- ア．韓愈などが古文の復興を提唱した。 イ．四六駢儷体とよばれる文体が流行した。
- ウ．雲崗の大石窟寺院が造営された。 エ．「三国志演義」「水滸伝」などが小説としてまとめられた。

(c) 孝文帝の時代に北魏が行ったこととして、誤っているものを一つ選んで記号で答えなさい。

- ア．三長制を制定した。 イ．都を洛陽に定めた。 ウ．均田制をはじめた。 エ．府兵制をはじめた。

(d) 下線部の目的で、金が実施した制度を答えなさい。 また金が12世紀前半に北宋を攻め滅ぼした事件をなんと呼ぶか。

(e) 元はモンゴル人を第一としたが、南人として最下層に位置づけられたのは、どのような人々であったか。

唐と宋〔北宋と南宋〕は、共に約300年存続したが、内政・外交・文化など異なった面や特色を持っている。

唐は(f) 三省六部などの諸制度を整え、貴族文化を築いただけでなく、国際色豊かな時代を現出した。また唐は(g) 日本・新羅・渤海など周辺の諸国・諸民族に大きな影響を与え、いわゆる東アジア文化圏を形成した。

これに対して、五代十国の分裂をおさめた(h) 北宋は、内政面では文治主義などを通して皇帝独裁を達成したが、対外的には、燕雲十六州を支配した(i) 遼や西夏などの外圧に苦しみ、さらに南宋も金に臣従を余儀なくされた。しかし北宋・南宋とも(j) 江南をおさえていたこともあって、経済の発展は著しかった。

(f) 三省のうち、六部を統括したのはどれか。 これら諸制度を整備した第2代皇帝の治世をなんと呼ぶか。

(g) 唐時代の周辺諸国・諸民族に関する記述として、正しいものを一つ選んで記号で答えなさい。

- ア．唐は周辺異民族を支配するため、建国当初から節度使をおいた。
- イ．渤海は長安にならった都城を建設し、日本とも交流した。

- ウ．百済は唐と協力して新羅・高句麗を滅ぼし、唐の文物を取り入れた。
- エ．モンゴル系ウイグル族は安史の乱の際反乱軍を助けた。
- (h) 北宋と関係ないものを、一つ選んで記号で答えなさい。
- ア．王安石が改革を行った。 イ．殿試を開始した。
- ウ．朱熹が朱子学を大成した。 エ．司馬光が「資治通鑑」を著した。
- (i) 遼を建国した民族名を答えなさい。
- (j) 宋で発行された紙幣を一つ答えなさい。

[12] 14世紀から18世紀にかけてのアジア諸国に関する次の文章を読み、文中の下線部に関する設問に答えなさい。なお解答は選択肢から1つ選択し、記号で答えなさい。

14世紀半ば中国では(a) 江南に起こった民衆反乱をきっかけにモンゴル民族の支配が崩壊し、かわって明王朝が成立した。この王朝では君主独裁体制を目指すと共に(b) 社会の実態にあわせた支配を試みた。15世紀初頭、権力の座に就いた永楽帝は(c) 積極的な対外政策を推進し、当時(d) 中央アジアから西アジア一帯に勢力を誇った帝国と覇を競った。しかし、明は15世紀半ば以降は(e) 内外の困難な問題を抱え、(f) 国内の経済発展にもかかわらず、国家としては衰退に向かっていった。ただ明の後半以降は政治的後退とは対照的に(g) 文化の多様な発展が見られたことは注目に値する。明が17世紀前半に滅亡した後、中国を支配下に置いた清朝は「征服王朝」として(h) 中国文化に対して独自の方策をとった。この頃、北インドではムガル帝国がインド最後のイスラム王朝として(i) 独自の支配を行っていたが、18世紀になると(j) 旧来の支配層の反抗や外部勢力の侵略を受けて、急速に衰退の歩みを早めていった。

〔設問〕

- 問1 下線部(a)について この民衆反乱は何か、次の中から選べ。
- ア．紅巾の乱 イ．黄巢の乱 ウ．黄巾の乱 エ．赤眉の乱
- 問2 下線部(b)について 明朝が建国初期に行った政策として不適当なものを次の中から選べ。
- ア．賦役黄冊の作成 イ．里甲制の導入 ウ．六諭の徹底 エ．青苗法の制定
- 問3 下線部(c)について 次の文章のうち、この時期の明の対外政策の説明として誤っているものを次の中から選べ。
- ア．鄭和の率いる大艦隊がインドから東アフリカ方面に派遣された。
- イ．永楽帝はモンゴル勢力に対する攻撃を繰り返し、北辺の安全確保に尽力した。
- ウ．明は李氏朝鮮とは外交関係を樹立せず、両国の交流は次の清朝成立までは行われなかった。
- エ．明は日本と外交交渉を行い、その成果として勘合貿易が日明間に行われた。
- 問4 下線部(d)について この帝国とは何か。次の中から選べ。
- ア．サファビー朝 イ．ティムール朝 ウ．カラ＝ハン朝 エ．カジャール朝
- 問5 下線部(e)について この内外の難問として不適当なものを次の中から選べ。
- ア．オイラート部の攻撃 イ．倭寇の活動 ウ．抗租運動 エ．三藩の乱
- 問6 下線部(f)について 明代の経済活動に関する次の説明のうち、不適当なものを次の中から選べ。
- ア．明代も景德鎮は中国を代表する陶磁器生産の中心として繁栄した。
- イ．明代後期になるとメキシコ銀が大量に中国に流入し、銀の流通量が増えた。これが一条鞭法実施の背景となった。
- ウ．明代には長江下流デルタ地帯が米の主要生産地帯となり、「蘇湖（江浙）熟せば天下足る」と言われた。
- エ．各地の大商人たちは会館・公所といった商館を軸に活発な流通事業を展開した。
- 問7 下線部(g)について 明代後期から清朝初期にかけての中国文化に関する次の説明のうち、誤っているものを次の中から選べ。
- ア．この時代は実学が盛んであり、『天工開物』は中国の伝統的生産技術を伝える貴重な資料である。
- イ．清朝初期は明代と異なって政治思想の解放が進み、王陽明のように儒教を原理的に批判する学者も現れた。
- ウ．この時代、ヨーロッパから訪れたキリスト教宣教師によりヨーロッパの学問や技術が紹介された。
- エ．明の時代は宋および元の時代に引き続き、『水滸伝』や『三国志演義』などが人気を博した。
- 問8 下線部(h)について これを物語るもので、清朝が漢民族に強制した満州族独特の風習を次の中から選べ。

ア．断食　　イ．纏足(テソク)　　ウ．刺青(イレズミ)　　エ．辮(弁)髪

問9 下線部(i)について ムガル帝国の北インド支配に関する説明のうち、誤っているものを次の中から選べ。

- ア．ムガル帝国繁栄の基礎を築いたアクバルは厳格なスンナ派であり、ヒンドゥー教徒を抑圧した。
- イ．ムガル帝国の君主アウラングゼーブはヒンドゥー教徒との対決姿勢を強め、国内に混乱を引き起こした。
- ウ．ムガル帝国の統治体制は王族や官僚を派遣して行う中央集権体制であった。
- エ．ムガル帝国の後期には、ヒンドゥー教徒などの激しい反抗が広がり、ムガル帝国の支配は不安定となった。

問10 下線部(j)について ムガル帝国時代のインドに対するヨーロッパ諸国の進出に関する次の説明のうち正しいものを次の中から選べ。

- ア．フランスはイギリスとの戦いに敗れ、セイロンを除くインドにおける全ての拠点を失った。
- イ．イギリスはフランスとの長期にわたる戦いに勝利を収め、ベンガルの支配権を得た。
- ウ．ロシアは北からインドへの進出を図り、イギリスに対抗してムガル帝国を支えた。
- エ．オランダは早くからインドに進出し、東海岸に数ヶ所の拠点を確保した。

[13] 次の～の各文の下線部で、(a)のみが正しければ1、(b)のみが正しければ2、(a)(b)ともに正しければ3、(a)(b)ともに誤っていれば4を書きなさい。また文中の[A]～[E]に適する語を答えなさい。

．アラビア半島に生まれたムハンマドは、唯一神[A]の啓示を受けたとしてイスラム教を創始した。しかし政治・商業上の特権喪失を恐れる大商人の迫害を受け、彼は622年に(a) メッカに移住した。この出来事を(b) ジハードとよび、イスラム紀元の元年とする。

．正統カリフ時代にはイスラム教信徒全体、すなわち(a) ムスリムの中からカリフが選出され、周辺への征服事業が継続された。642年には[B]の戦いで、ササン朝ペルシャに打撃を与え、(b) パルティア王国からはシリア・パレスティナを奪った。

．ウマイヤ朝を創始したシリア総督ムアウィヤは(a) ダマスカスに都を置き領土を拡大した。東方ではインダス川流域までを支配し、西方では711年イベリア半島の(b) ヴァンダル王国を滅ぼし、732年には[C]の戦いでフランク王国への侵入を試みた。

．アッバース朝は第5代カリフ[D]の時代にイスラム文化の黄金時代を迎え、アラビア数学を確立した数学・天文学者である(a) イブン・シーナーなどが活躍した。しかし、その後各地に軍事政権が自立し支配力が低下、946年にイラン系(b) ブワイフ朝に都を占領されアッバース朝は名目的存在となった。

．後ウマイヤ朝滅亡後、[E]人のムラービト朝ついでムワッヒド朝が成立し、(a) マラケシュに都をおき、イベリア半島にも進出した。しかし、キリスト教勢力のイスラム勢力駆逐運動に圧迫され衰退した。その後最後のイスラム王朝であるナスル朝も1492年に(b) グラナダを失い、この地でのイスラム勢力は消滅した。

[14] 以下の(1)～(6)の文は、南アジア・西アジア世界について述べたものである。文中の下線部が誤っていれば正しい語句に書き換えなさい。正しければ「1」と記入しなさい。

(1) インドは大部分が熱帯・亜熱帯に属し、高温多湿の風土で、稲作をはじめとする農業が発達し、前2000年ごろにはインダス川流域で都市文明が発達していた。この文明はインダス文明と呼ばれ、(a) モヘンジョ＝ダロやハラッパーに代表される高度な都市文明であった。そして、前1500年ごろインダス川流域に侵入した(b) ドラヴィダ人はやがてガンジス川流域に進出し小王国をたて、社会の発展につれ独自の身分制度が形成された。

(2) シャカ族の王子ガウタマ＝シッダールタは、全ての人間は平等であるとする仏教を開いた。仏教は後1世紀に(c) グプタ朝のもとでヘレニズム文化と結びつき、ガンダーラ美術が誕生した。だが、仏教はインドではその後定着せず、4世紀以後(d) ジャイナ教を中心に成立したヒンドゥー教がインドの宗教の主流となり、現在もインド人の考え方や日常生活の基本をなしている。

(3) インドシナ半島では2世紀ごろからインドの影響で王国が建設された。なかでも、メコン川中流域におこったクメール人の国であるカンボジアで、2世紀に建設された(e) ポロブドゥールは有名である。

(4) 古代オリエント世界を最初に統一した(f) アッシリアは、苛酷な支配のために諸民族の反抗を招き滅亡した。その後、

オリент世界を統一したアケメネス朝はギリシアとの3度にわたる戦いの後(g)カエサルによって滅ぼされた。彼はギリシア文明とオリент文明の融合をめざしたが急死した。

(5)7世紀初めにメッカの商人ムハンマドは、神の啓示を受けたとしてイスラム教を開いた。やがて、その伝道活動のもとでアラビア半島はイスラム教の信仰のもとに統一された。ムハンマドの死後、カリフと呼ばれる後継者が選ばれさらに征服活動がすすめられる中で、経典(h)ヴェーダの編集がおこなわれた。

(6)11世紀にはいると西アジアでは(i)イラン系の諸民族が活躍し、セルジューク朝は、カリフをその保護下におき(j)スルタンの称号を得た。さらに13世紀に成立したオスマン朝は、アジア・北アフリカ・ヨーロッパにまたがる大帝国を築き、イスラム世界の盟主となった。

[15]次の地図(A)は紀元後2世紀の世界を、地図(B)は紀元後13世紀後半の世界をそれぞれ示している。この地図に関する下の設問に答えなさい。

地図(A)について

2世紀の世界はユーラシア大陸の各地に比較的安定した国家が並立し、それらの国家間の交流も従来とは比較にならぬほど盛んになった。このことを念頭に置いて次の設問に答えなさい。

問1 図中「あ」の王朝の記録には「大秦王安敦の使者が中国南部に到来した」との記述があるが、この大秦とは何を指すか。地図(A)の中の記号と国名を答えなさい。

問2 図中「あ」の王朝名を記せ。

問3 図中「あ」の王朝の都は洛陽である。図中の記号A～Dの中からその正しい位置を選び記号で答えなさい。

問4 図中「う」の王朝は中国と西方の間の物資の取引で繁栄していた。この王朝の富の源泉であった中国産の最も重要な商品は何か。次の中から一つ選び、記号で記せ。

ア．香辛料 イ．陶磁器 ウ．絹 エ．コハク(琥珀)

問5 図中「か」の集団はこの後、さらに西方へ移動し、4世紀後半以降はヨーロッパでは「フン族」として歴史に登場したと考えられている。この集団は何か。次の中から選び、記号で記せ。

ア．鮮卑 イ．匈奴 ウ．スキタイ エ．突厥

地図(B)について

13世紀の世界は近代以前においては特筆に値するほど東西交渉が発展した時代であった。それはユーラシア大陸の大半を支配し、広い範囲にわたって安定した政治状況を生み出したモンゴル帝国に負うところが大きい。このことを念頭に置いて次の設問に答えなさい。

問6 モンゴル勢力は13世紀前半、北インドに侵入し、図中「さ」のイスラム王朝と戦った。この王朝の都Gの都市名を次の中から選び、記号で記せ。

ア．カルカッタ イ．ボンベイ ウ．デリー エ．ゴア

問7 図中「し」の王朝は、13世紀後半の西アジア・北アフリカ地域において、イスラム勢力のリーダーとしてモンゴル勢力とヨーロッパ勢力の両方に対抗していた。この王朝の名を記せ。

問8 「し」の王朝に対抗するため、フランス国王ルイ9世は13世紀半ばウィリアム＝ルブルックをモンゴル帝国へ派遣したが、彼が派遣されたモンゴル帝国の都(図中E)は何か。次の中から選び、記号で記せ。

ア．大都 イ．カラコルム(和林) ウ．臨安 エ．香港

問9 この時代、ヴェネツィア商人マルコ＝ポーロはモンゴル帝国を訪れているが、彼が立ち寄った中国の海港都市「ザイトウン」(図中F)は世界で最も繁栄している港であると『東方見聞録』で記している。この「ザイトウン」という町はどの都市をさしているか、次の中から選び、記号で記せ。

ア．北京 イ．長安 ウ．広州 エ．泉州